

中学生の「税」についての作文

税務課では、納税意識の高揚を目的に、次代を担う中学生を対象に「税についての作文」を募集しました。この中から最優秀賞である小松島市長賞を受賞された小松島中学校2年の北野日菜さんの作文を紹介します。

『税金について』

小松島中学校2年



北野 日菜

かつた私は、こんなことをする必要があるのかと疑問に思いました。

そこで、インターネットで調べ、私は「教育と税金」について詳しく見てみることにしました。私がいちばん興味を持った資料は「公立学校の児童・生徒一人当たりの国と地方公共団体の年間教育費負担額」です。そこには、小学生約八十六万三千円、中学生約九十九万三千円、高校生約一百万円と書かれていました。

私は、これまで税金について深く考えたことがありませんでした。私たちのいちばん身近である消費税が昨年の四月より五パーセントから八パーセントに上がりました。百円ショップの品物は、今まで百五円でしたが今では百八十円に値上がりしています。税金のことをあまりよく知らな

備品」「学校の建設費」「先生の給料」などということもわかりました。私は、この資料を見たときは本当に驚きました。現在、中学二年生の私でも、小学校六年間で約五百十七万八千円、中学校の二年間で百九十八万六千円、合計約七百十六万四千円の税金に助けられています。教科書代が無料なのも、きれいな机やイスが人数分きちんと備わっているのも、大きく美しい学校が建設されていることも、あたりまえではなく、すべて税金のおかげだということをあ

だからこそ、教科書も机もイスも落書きなどを絶対にせず、乱暴な使い方は決してしてはいけないと思いました。そして、なによりも学校そのものを大切に使用しようと強く心に感じました。

それに、母から納税しない人がいるということを聞きました。消費税は買い物した人はみんな何気なく払っていると思うけれど、その他の税は納めないという人がいるらしいです。私たちの生活は、いろいろな税金のおかげでつくり出されているものなのに、納めずに生活するなんて、お

かしいと思います。私は、大人になつたらきちんと税金を納めて、少しでも日本のためになることができたらいいな

今回、税のことについて詳しく勉強してみて、新しくわかつたことがあります。それは、税金を払うときは、なんとか損をした気持ちでいやになるものだけど、形を変え

てきちんと私たちの元へと返ってきて、日本中の人々を笑顔にしてくれるものだということです。私は、税金は今の私たちの生活に欠かせないものだと感じました。

平成27年度の「税についての作文」優秀作品の表彰を受けた方は次のとおりです。（敬称略）

【小松島市長賞】

小松島中学校2年 北野 日菜

【審査員特別賞】

小松島中学校2年	畠山	染寿	菜々子
坂野中学校3年	谷口	綾	真実
立江中学校3年	大谷	ひかる	優衣

【入選】

小松島中学校2年	井内	菜々子
小松島中学校2年	谷	真実
小松島中学校2年	森	優衣
坂野中学校3年	奥村	香菜子
坂野中学校2年	鳴滝	利恵
立江中学校3年	宮内	優太朗

【佳作】

小松島中学校2年	七星	七星
小松島中学校2年	美月	美月
小松島中学校2年	愛結	愛結
小松島中学校2年	綾香	綾香
坂野中学校3年	美里	美里
坂野中学校2年	有未	有未
坂野中学校2年	侑次郎	侑次郎
立江中学校2年	江崎	江崎
立江中学校2年	田村	田村